

卒業後の進路

理学療法学専攻

進学

大学院・修士課程：修士（理学療法学）

- 医歯薬学総合研究科 保健学専攻 理学療法学分野

博士課程

- 看護学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 保健科学分野

就職

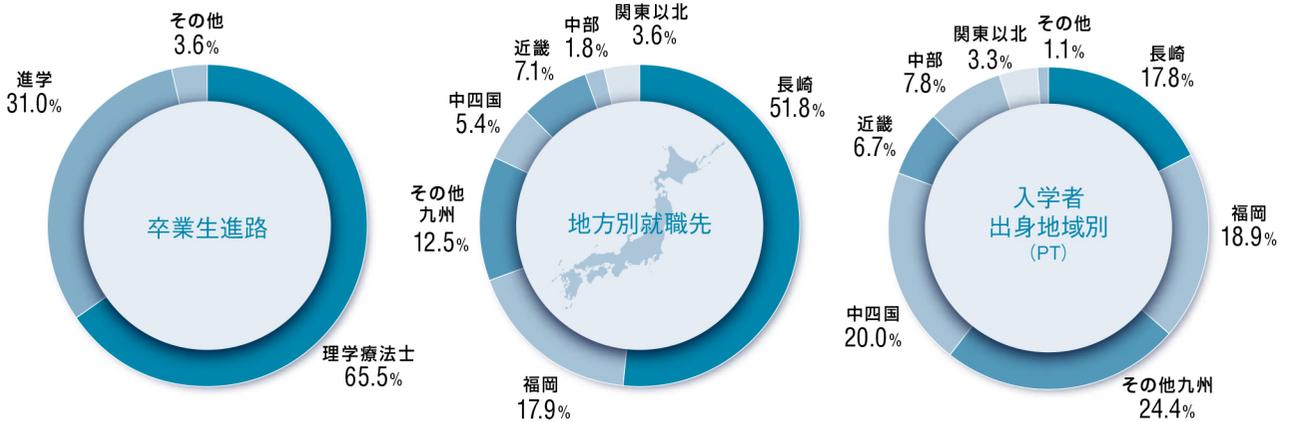
医療領域

- 総合病院
- 大学病院
- 労災病院
- 脳神経外科病院
- リハビリテーション病院
- こども病院
- 整形外科病院
- 訪問看護ステーション他

保健・福祉領域

- 地方自治体福祉課
- 介護老人福祉施設
- 介護老人保健施設
- 通所リハビリテーション
- 通所介護
- 身体障害者更生施設（養護施設／授産施設）
- 身体障害者更生相談所
- 肢体不自由児施設
- 母子通園施設
- 心身障害児（者）施設
- テクノイドセンター

過去5年の実績



活躍する卒業生

先輩方のアドバイスを受けながら多職種の方と協力しています



竹内 里奈
長崎大学病院リハビリテーション部 理学療法士
2018年度卒業 14期生

私は現在、急性期病院に勤務させていただいています。そのため、患者さんが急変することも少なくはなく、適切な判断や介入が必要です。また、介入時間も多くは取れないため多職種との関わりが大切です。就職して間もない頃は、経験も少なく自分のしている判断が正しいのか不安に感じたり、患者さんと多職種との関わり方などに慌てたりする毎日でした。ですが、先輩方にアドバイスをいただきながら、患者さんとの関わりの中で多くの経験をさせていただいています。患者さんの中には予定通りに治療が進む方もいらっしゃいますが、そうでない場合もあり、この場合はより理学療法士として活躍しなくてはなりません。まだ経験不足で尊敬する先輩方には程遠いですが、どのような場合でも活躍し、患者さんや指導して下さる先輩方に恩返しができるよう日々努力しています。

筋力低下の原因となる筋萎縮の治療戦略について研究しています



三宅 純平
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学療法学分野（修士課程在学）
2021年度卒業 17期生

私は現在、大学院の修士課程に進学し、大学時代よりもさらに高度な講義を受けながら研究活動に励んでいます。理学療法士は身体に障害のある方に対して日常生活活動の改善を図る職業です。そして、現在も様々な障害・症候に対する効果的な理学療法の開発に向けた研究活動が盛んに行われています。私は筋力低下の原因となる筋萎縮に注目し、これに対する有効な治療戦略を開発するための研究活動を行っています。この研究成果によって、筋萎縮の発生予防につながる治療戦略を見出すことが出来れば、対象者の方々が豊かな日常生活を営むための一助になると信じ、日々研鑽を積んでいます。将来は対象者の方々に科学的な根拠に基づいた質の高い理学療法を提供できる理学療法士になりたいと考えています。